

| | | | |
|-------------------------|---|---------|----------|
| 1. 科目名 (単位数) | 社会福祉政策特殊講義 (4 単位) | 3. 科目番号 | SSMP7203 |
| 2. 授業担当教員 | 尹 文九 | | |
| 4. 授業形態 | 講義、調査発表、事例研究など | 5. 開講学期 | 通年 |
| 6. 履修条件・他科目との関係 | 履修条件は特になし | | |
| 7. 講義概要 | 政策の概念から始まり、政策の種類、政策環境、政策形成や決定に参加者、政策研究のアプローチ方法などの政策学に関する基本的な理論を学ぶ。それに基づいて各論として日本の福祉政策と関連した重要な政策を選び、それを中心に政策の形成や決定プロセスの特徴を理解する。また、課題先進国といわれている日本の高齢者福祉政策を中心に、日本政府が、どのような政策環境の下で、どのような政策で対応してきたか、また、マクロレベルで少子高齢社会と関連してどのような課題が残されているか学ぶ。 | | |
| 8. 学習目標 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会福祉政策学を学ぶ意義や重要性について学習してから、政策の概念から関連して専門用語などを理解する 2. 政策学に関する基本的な理論について理解する (たとえば、政策の種類、政策形成と決定プロセス、政策環境、政治アクター、政策執行、政策評価) などについて理解する 3. 政策環境として少子高齢化社会と財政関係について理解する 4. 高齢者福祉政策と関連し、必要な政策転換を行わねばいづつかを政策を事例として取り上げ、その政策の形成や決定過程の特徴を理解する 5. 福祉国家と福祉政策の関係について福祉レジーム論を中心に考察し、理解する 6. 市場の失敗から大きな政府論が登場し、政府の失敗から小さな政府論が登場したが、福祉政策における政府と市場の役割へ画について理解する 7. 政策執行と政策評価の方法について理解する 8. 日本の高齢者福祉政策と関連し、学ぶ点や課題について理解する | | |
| 9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題 | 福祉政策の中、一つの政策事例を選び、その政策の形成や決定過程の特徴について本授業で理解された理論モデルを利用してその内容をまとめて小論文で提出する。 | | |
| 10. 教科書・参考書・教材 | <p>【教科書】 飯田周一『社会福祉政策 3 版』有斐閣、2014 年 3 月 尹文九『高齢社会の政治経済学—日本の高齢者福祉政策を中心に—』ミネルヴァ書房、2017 年 10 月</p> <p>参考書 宮川公男『政策科学の基礎』東洋経済新報社、1998 年 宮川公男『政策科学入門』、東洋経済新報社、1999 年 武川正吾『福祉レジームの日韓比較』東京大学出版会、2006 年</p> | | |
| 11. 成績評価の規準と評定の方法 | <p>○成績評価の規準 小論文：論文の構成から文章の連結などが論理的になっているかどうか 内容が設題の沿ってまとめられているかどうか 授業態度：授業の出席率と授業の参加度 (たとえば、積極的に質問をしたり、自分の意見を表現したりしているか) 与えられた課題について調べ、その内容を理解しているか</p> <p>○評定の方法 小論文：30% 授業態度 (参加の積極性など)：70%</p> | | |
| 12. 受講生へのメッセージ | 次回の授業のキーワードを授業前に調べて理解してから、授業に参加すると、授業がさらに楽しくなると思う。 | | |
| 13. オフィスアワー | 別途通知する | | |
| 14. 学習の展開及び内容 | 【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】 | | |
| 1. テーマ | シラバス説明、社会福祉政策学を学ぶ意義や重要性について | | |
| 【学習の目標】 | 授業全体の流れや政策学を学ぶ意義について理解する | | |
| 【学習の内容】 | 今なぜ、社会福祉政策が重要なのか、まだ、それを学ぶ意義は何か、などを理解する | | |
| 【キーワード】 | 政策学 | | |
| 【参考文献】 | 飯田周一『社会福祉政策 3 版』有斐閣アルマ、2014 年 | | |
| 2-3 .テーマ | 政策と政策類型 | | |
| 【学習の目標】 | 政策の概念や政策の種類 | | |
| 【学習の内容】 | <ol style="list-style-type: none"> 1、政策の概念を政治、意思決定 (無意志決定) 企画、計画など比較検討する 2、政策の種類について職制や性格による政策の種類について 3、政策学の研究する方法 | | |
| 【キーワード】 | 政策、政策学、社会福祉政策、制度、意思決定 | | |
| 【学習の課題】 | 理解できなかった専門用語は復習して理解できるようにする | | |
| 【参考文献】 | 前掲書 | | |
| 【学習する上での留意点】 | それぞれの専門用語の違いを正確に理解する | | |
| 4・5 テーマ | 福祉政策の歩み | | |
| 【学習の目標】 | 20C の先進諸国家 (福祉国家) の福祉政策の歴史について理解する | | |
| 【学習の内容】 | <ol style="list-style-type: none"> 1、社会福祉政策の変動モデル 2、戦前の福祉政策 3、福祉国家の助走 4、日本の福祉国家への道 5、福祉国家への批判 | | |

| | |
|--------------|---|
| 【キーワード】 | 社会福祉変動モデル、日本型福祉社会、福祉国家 |
| 【学習の課題】 | 福祉国家と福祉社会の違いについて理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書 |
| 6・7. テーマ | 福祉政策におけるパブリックと市場経済の役割 |
| 【学習の目標】 | マクロレベルでの政府と市場の役割の変化を理解する |
| 【学習の内容】 | 1、市場の失敗 2、政府の失敗 3、小さな政府論 4、公共選択理論 |
| 【キーワード】 | 同上 |
| 【学習の課題】 | 公共選択理論が福祉政策に及ぼした影響について理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書と資料配布 |
| 【学習する上での留意点】 | 新保守主義について理解する |
| 8・9. テーマ | 社会保障の体系と機能 |
| 【学習の目標】 | 社会保障の概念からはじめ、その体系と機能、また展開について日本を中心に理解する |
| 【学習の内容】 | 1、生存権と社会保障 2、社会保障の仕組み機能 3、社会保障制度の展開 |
| 【キーワード】 | 生存権、公的扶助、社会保険、社会福祉 |
| 【学習の課題】 | 社会保障制度のそれぞれの機能や役割の違いについて理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書と配布資料 |
| 【学習する上での留意点】 | 社会保障制度と政策の関係を理解する |
| 10-11 テーマ | 公的責任の確立と生活保護法 |
| 【学習の目標】 | なぜ、福祉分野における公的責任が重要になってきたのか、また、それによって、出来た生活保護制度を中心に学習する |
| 【学習の内容】 | 1、生活保護制度の原則や原理、内容について学習する 2、旧制度はなぜ、新制度に政策転換をしなければならなかったのかについて当時の政策環境にフォーカスを置いて、朝日訴訟を事例に取り上げながら学習する |
| 【キーワード】 | 生活保護制度の原則、社会権 政策環境 朝日訴訟 |
| 【学習の課題】 | 生存権、社会権などについて理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書 |
| 【学習する上での留意点】 | なぜ、急に政策転換が行わなければならなかったのかについて理解する |
| 12-13.テーマ | 社会福祉法と福祉サービス |
| 【学習の目標】 | 時代別にどのような政策環境の下で、社会福祉と関連したどのような法律が制定されたのかについて理解する |
| 【学習の内容】 | 1、社会福祉法の経過 2、社会福祉関連諸法の改正 3、福祉改革 4、福祉文化 |
| 【キーワード】 | 福祉三法、六法、福祉改革、福祉八法 |
| 【学習の課題】 | なぜ、改革が必要なのか、何の目的から大きな改革をしなければならなかったのかについて理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書と配布資料 |
| 【学習する上での留意点】 | 改革の際、目的と目標の違いについて理解する |
| 14-15.テーマ | 社会福祉の費用と財政 |
| 【学習の目標】 | 社会福祉の財政について社会福祉給付費や関係費を中心に理解する |
| 【学習の内容】 | 1、財政とは 2、予算制度と会計 3、社会保障給付費と関係の内容 4、国民負担率 5、国と地方との財政関係 6、財政をめぐる課題について |
| 【キーワード】 | 財政、予算制度、会計、民生費、地方交付税、社会保障給付費 |
| 【学習の課題】 | 社会福祉政策を実施するためには財政のバックアップが重要であることを理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書と配布資料 |
| 【学習する上での留意点】 | 専門用語の内容を明確に理解する |
| 16-17.テーマ | 政策環境と政治アクター |
| 【学習の目標】 | 政策環境にはどのようなものがあるかについて少子高齢社会と関連して理解する |
| 【学習の内容】 | 1、政策環境の意義 2、政策環境として少子高齢化社会 3、政治体制と政策関係 4、政策決定過程のアクター（参加者） 5、政策企業家 |
| 【キーワード】 | 政策環境、政治アクター、少子高齢化社会、政策企業家 |
| 【学習の課題】 | 政策環境は政策決定とどのような関係にあり、それが政策のどの部分に影響しているのかを理解する |
| 【参考文献】 | 尹文九『高齢社会の福祉経済学』ミネルヴァー書房、2017年 |
| 【学習する上での留意点】 | 社会政策と関連し、少子高齢社会をめぐる諸問題点を理解する |
| 18-19.テーマ | 福祉国家と福祉政策 |
| 【学習の目標】 | 福祉国家と福祉政策について特に福祉レジーム論を中心に福祉国家を理解する |
| 【学習の内容】 | 1、福祉国家と福祉社会 2、社会福祉政策に発展移管する理論 3、福祉レジーム 4、権力資源動員モデル |
| 【キーワード】 | 福祉レジーム、福祉国家、権力資源動員モデル |
| 【学習の課題】 | 政策決定理論モデルの中、自分が好きなモデルを選び、その内容を調べ、理解した内容をまとめる |
| 【参考文献】 | 前掲書と配布資料 |
| 【学習する上での留意点】 | 福祉レジームの内容を明確に理解する |
| 20-21.テーマ | 社会福祉政策決定の理論モデル |
| 【学習の目標】 | 社会福祉政策を決定する際、どのような理論モデルがあるかについて理解する |
| 【学習の内容】 | 1、政策決定理論モデル 2、日本の政策決定に関する理論 3、政策形成プロセス、4、政策議題の設定 |
| 【キーワード】 | 合理的な意思決定モデル、満足モデル、エリート理論、政策議題 |
| 【学習の課題】 | それぞれ政策決定理論モデルの長点と問題点について理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書と資料配布 |

| | |
|--------------|---|
| | 【学習する上での留意点】 政策議題設定に影響を及ぼす要因について明確に理解する |
| 22-23 テーマ | 日本の高齢者福祉政策の歴史 |
| 【学習の目標】 | 少子・高齢化の政策環境の変化に対して日本政府が具体的にどのように対応してきたかを理解する |
| 【キーワード】 | 1、歴史・制度的アプローチ研究方法 2、歴史から見た日本の高齢者福祉政策の変化 3、日本型福祉社会論 4、福祉文化と福祉政策 |
| 【学習の課題】 | 政策形成と決定の際、政策環境として高齢化率と選挙と関連性について理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書 |
| 【学習する上での留意点】 | なぜ、日本政府は高齢者福祉政策においては、約 10 年程度で大きな政策転換が行われてきたのかを理解する |
| 24-25. テーマ | 政策の憲理論モデルと介護保険法の決定過程 |
| 【学習の目標】 | 政策の憲理論モデルを用いつつ、介護保険制度の政策形成及び決定過程を理解する |
| 【学習の内容】 | 1、キングンの政策の憲理論モデル 2、介護保険制度の政策形成過程 3、介護保険制度の決定過程 |
| 【キーワード】 | 政策の憲理論モデル、介護保険制度、政策形成と決定 |
| 【学習の課題】 | 政策の窓に理論モデルと合理的理論モデルの違いについて理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書 |
| 【学習する上での留意点】 | 政策形成過程と決定過程における、特に政治アクターを中心にその役割などを理解する |
| 26-27 テーマ | 政策執行と老人医療政策（老人医療費無料化制度） |
| 【学習の目標】 | 老人医療費無料化を事例として政策執行の内容を理解する |
| 【学習の内容】 | 1、政策施行の重要性 2、政策形成と執行の関係 3、キャンベルの政策類型モデル 4、老人医療費無料化制度 5、政策執行に影響を及ぼす要因 |
| 【キーワード】 | 政治・行政一元論と二元論 大きくて新しい決定モデル、老人医療無料化制度 福祉元年 |
| 【学習の課題】 | 政策環境として住民運動や住民参加について理解する |
| 【参考文献】 | 前掲書 |
| 【学習する上での留意点】 | 政策執行は政策環境、特に、経済や政治的な要因によって大きく影響を受けやすいが、第2セクターとは異なることを理解する |
| 28-29 テーマ | 政策評価と事例研究 |
| 【学習の目標】 | 政策評価の意義と評価の方法について理解する |
| 【学習の内容】 | 1、政策評価の意義や目的 2、政策評価の難しさ 3、政策評価の方法 4、政策評価の限界 |
| 【キーワード】 | formative 評価 summative 評価 効率性 効果性 妥当性 |
| 【学習の課題】 | なぜ、政策の評価は民間と比べ、容易ではないのかについて理解する |
| 【参考文献】 | 資料配付 |
| 30. テーマ | 総括 |
| 【学習の目標】 | 今まで学習した内容を総括しながら重要な内容を再確認する |
| 【学習の内容】 | 特に研究の方法で政策的（マクロレベル）、制度的（メゾマクロレベル）、機能的（ミクロレベル）研究のアプローチ方法の相違点を理解する |
| 【キーワード】 | 価値判断、ファクト（fact）、政策学の研究方法、政策決定のプロセス |
| 【学習の課題】 | 政策学は学問として社会にどのような役割を果たしているのかについて考える |
| 【参考文献】 | 配布資料 |